

八丈町 News Letter From
Hachijyo Town Assembly

議会だより

No.
165
2013.2.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html



八丈島パブリックロードレース（1月13日）

目次

- 第4回八丈町定例議会 …………… 2
（平成24年12月5、6、12日開催）
- 一般質問 …………… 3
- 第4回定例会の質疑から …………… 9
- 行政視察レポート …………… 10

第4回八丈町定例議会

(平成24年12月5、6、12日開催)



新庁舎議場

新庁舎建設はいよいよ大詰

議論が沸騰した決算審議

長年、慣れ親しんだ庁舎が生まれ変わり5月から新庁舎での業務が開始されます。あわせて島の地域活動・文化・芸術の発信拠点となる集会施設も完成します。

今議会では、庁舎建設にともなう地盤補強や追加工事の補正が議決され、最終契約金額は約38億円となりました。建物が新しくなっても中身が大事、「住民が主役」の庁舎であることを忘れないでほしいものです。

議会では、「これまで以上に職員の質の向上をはかること」「無駄を省くこと」に力を入れるよう求めました。また島の活性化に結びつくような提案や指摘も数多く出されました。

フクトコブシの稚貝や

シマアジの稚魚の放流については、実績があがっていないので、根本的な原因を探り、エサとなる海藻が生える環境を整備する必要があると指摘しました。

また小中学校のパソコン授業における成果が把握できていない点、英会話教室の成果が上がっていない点については、費用対効果の精査を求めました。

さらに給食費の未収金対策、国民健康保険税の財政破たん対策などについては、町のしつかりした対応を要望しました。

このほか、八丈富士登山道の改修に人工物を使うべきでないとの指摘が相次ぎました。

白内障手術の器材・医師の確保や、火葬場の利

用時間の改善、大賀郷中学校の夜間照明、民俗資料館解説員の一時的駐在、汚泥収集車の増車と計器の取り付け、地熱PR館購入後の管理運営についてなど、多くの要望、意見が出されました。

議論が沸騰した場面も多かったのですが、傍聴者がいなかったのが残念です。これからも議会活動に注目していただければ嬉しく思います。

お詫び
164号・第三回定例会の質疑から(8頁)「やる気のある子供たちの学習面をサーポートせよ」の山下崇議員の質問は、八高の吹奏楽についての質問ではありませんでした。

皆様の誤解を招くような記載をいたしました事を深くお詫びいたします。

議会だより編集委員一同

離島振興案に対する交付金を活用し、歴史民俗資料館の改修を

答

他に活用できる補助金を含め、国や都と協議する



山下 松邦 議員

◆所要時間 9分

平成25年4月より施行される改正離島振興法に關連して(2点問)。

○全国の離島市町村から提出された企画書を審査し、すぐれた離島振興案に対し国から交付金(離島活性化交付金)が支給されると聞いている。この国予算を活用し、歴史民俗資料館の改修に当てるのが望ましいと考えるが、町として何か手を打っているか。

○佐々木 眞理 企画財政課長

離島活性化交付金が創設されたが、その交付金の前

提となる離島振興計画においても「文化の振興」という事項も盛り込まれている。歴史民俗資料館整備も交付金のメニューになるのではないかと考えている。歴史民俗資料館の整備が具体化されたら、離島活性化交付金はもちろん、他に活



歴史民俗資料館

用できる補助金がないかを含め、国や都と協議する。

島全体を仮称「八丈島エコ・ミュージアム」として活用するよう、歴史民俗資料館基本計画を發展させては

答

提案を精査し、協働できる部分は連携を図り取り組む

○島全体を仮称「八丈島エコ・ミュージアム」として活用するよう、歴史民俗資料館基本計画を發展させてはどうか。この構想を軸に八丈島を、歴史文化遺産を基盤とする「観光と教育の島」として全国にPRし、産業振興と若者の雇用確保につなげていくべきと考えるが、町の考えは。

○企画財政課長

民間団体から提案があった「八丈島エコ・ミュージアム構想」は、正式には「歴史文化遺産を活用した八丈島エコ・ミュージアム構想」といい、島の歴史文

化資産を活用して、島おこしを図るといふ、大変意欲的なものと受け止めている。その中では資料館整備から島言葉の活用まで、幅広い資産の活用が示され、また、検討組織の立ち上げ、年次計画までの提案があった。町の資料館の基本計画はこれから検討していくが、基本理念は、『歴史と伝統文化の保存・継承を通じて、歴史文化のコンテンツ作りと発信を行うこと』で、文化の香り高い町づくりの中核的役割を果たし、人口減少の歯止めと観光人口の増加に寄与する』としているので、方向性は同じと考える。そのようなことで、提案を精査し、協働できる部分は連携を図りながら取り組んでいく。

町立八丈病院、外科医の確保を

答
たい
大学病院への派遣依頼を継続し



水野佳子議員

◆所要時間 12分

平成24年9月から町立病院の外科医が不在となり3カ月が過ぎた。その間、病院としては内科などの医師が診察、治療を行っているが、幸いこの質問原稿締め切り後の11月26日から、民間よりの外科医が勤務していると町の説明を受けた。

問今回はたまたま民間からの採用となったが、安定した医師派遣のため、東京都大学病院、関係機関への働きかけは怎么样了っているか。

答 土屋久公営企業管理者

4月から都に話をしてきたが、最初は自分たちで探すようにと厳しく言われた。しかし、9月になっても見つからないことから、都の協力を頂き、文書を持って順天堂（「残念ですがご期待に添えない」との回答）、慈恵医大（八丈に説明にみえると聞いている）などに働きかけた。日大の外科の医局を紹介して頂ける話もあり病院を訪問したい。もう少し都と詰めたい。

問現在勤務している外科医師が、この先も長期で勤務して行く見込みがあるか。

答 臨時職員であり、本人の意向もあるので話を良く伺い、長期で勤務して頂けるようにお願いしたい。その間、大学病院からの派遣を

一番に考え進めたい。

支庁から八重根方面に向かう大中上交差点の電柱等の移設を

答
東京電力など関係機関と連携しつつ検討する

問支庁から八重根方面に向かう大中上交差点は車の交通量が多く、両側の歩道の幅員が大変狭い。特に駐在所の前は信号機、電柱も重なり、狭い所では50センチほどの歩行スペースしかない。都道の拡張工事も予定されていることから、現在はやむを得ないとのことであるが、大きな事故が起きてからでは遅い。子供たちや高齢者が安全に歩ける道幅を確保するために、町として支庁、東京電力等の協力を仰ぎながら、電柱等の移設はできないか。

答 八洲進 建設課長

都道であることから八丈支庁土木課長から回答を頂いている。



大中上交差点

代読 大中上交差点については、今後、支庁前通り全体の整備に合わせて抜本的な改良工事を行う予定である。このため、それまで暫

定的な対策として、一部の電柱の移設や歩道幅員の拡幅等が可能かどうか、東京電力など関係機関と連携しつつ検討してまいりたい。

高齢者総合計画はどのようなものか

答 来年度、将来にわたる福祉計画を立てる



奥山 幸子 議員

◆所要時間 32分

近く、町は高齢者総合計画をたてることである。町も少子高齢化が進み、高齢者が暮らしやすい町にするための施策の方向性を打ち出すことは重要であり、これを評価した上で計画の内容について伺う。

計画画の背景と目的は何か。

答 笹本 重喜 健康課長

総合計画（名称未定）は、長期的には国の地域福祉計画に沿ったものではあるが、社会環境の変化にあわせて町独自に中期的计划を

文化協会に対し町はどのような支援をするのか

答 協会が足元を固めることが最優先である

住民に示すことが重要であること、さらに国や都へ要望する際の根拠を示す意味でも必要と考える。

町 高齢者福祉策の将来像は現場の声を反映したものに。

町 住民の声を反映させたものにしたが、協議会の委員構成はこれから考える。

町 八丈では民間の事業所が充実している。現場の事業所の声を反映すれば、失敗のない無駄のない計画が生まれると思う。財政力の乏しい町であれば、なおのこ

とコンサルに頼らない計画づくりを進めるべきと思う。

町 専門家を外部から呼ぶことはあるが、基本は独自に作りたいたいと考えている。

10月に待望の文化協会が設立された。文化活動に対する町の支援は十分ではない。島の文化振興のために町はどのような支援をするのか。

町 財政的支援の根拠と規模は。

答 福田 高峰 教育課長

文化協会はまだできなかりで組織の内容を把握できていないので、支援の規模は明らかにできない。

町 集会施設の運営委託を含め、協会の役割をどう考えているか。

町 集会施設の管理運営については、まず公募で町民の意見を取り込み、集会施設管理運営協議会をつくる。文化協会がその役割を担う

には多くのプロセスが必要で時間がかかるので、役割については協会の力がついてきてから考えたい。

町 当面来年度の予算にはどう盛り込まれるのか。

町 協会の実態が明らかになるまでは、従来どおりの支援をしていく。

末吉地区振興策の一つとして、保育園をデイサービスの事業所に

答 受ける事業所があれば検討する

以前、末吉小学校閉校後の跡地利用と地域振興策について質問したが、末吉地区の振

興を考

えると

き、保

育園も



末吉小学校

地利用の際の必要条件とされている、「人が集う」「雇用の創出」を考慮すると、末吉保育園を高齢者が集う場所として活用するのひとつの選択肢だと思つ。

町 保育園をデイサービスの事業所として活用する考えはないか。

町 佐々木 眞理 企画財政課長

これまで3回の意見交換会を行ない様々な案が出されている。提案のデイサービスは、受ける事業所があれば検討してもいいが、今年度中は意見交換を続けるので、その中の一つの案として考えたい。

町 事業所としてでなくても試験的に始められないか。

答 健康課長

週に1〜2回では採算が合わず難しいのではないかと。高齢者が集まっているところから出てくる場所については、住民の方と検討したい。

島内産野菜類の地消および島外出荷の促進について

答 栽培面積の拡大による生産量の増産が必要



岩崎 由美 議員

◆所要時間 20分

いるか。

答 奥山拓 産業観光課長

島内に限定すると、パブリックロードレースでの懇親会、回遊魚まつり、離島甲子園大会の懇親会等で食材の地消を行っている。

問 イベント以外の取り組みは。「計画的な安定供給」と「情報の交流」が最重要課題だと考えられるが。

答 一番はJAでの公設市場。量的なものについては、JA（公設市場）と情報の交流を含めて相談する。

問 上記の施策を推進するにあたり現在の課題は何か。

答 輸送コスト、天候、病害虫等により収穫量の安定供給ができない、契約栽培が

難しい点があげられる。野菜に関しては少量多品目が現状。今後販売していくためには、種類を選定しある程度の量を確保していく必要がある。

問 八丈島産野菜類の島外出荷の現状と、これを促進するための事業計画は。

答 島外へは明日葉が出荷されている。JAの明日葉部会では独自の販売ルートの開拓を行っている。その他の野菜については、現在のところ具体的な事業計画はない。

今後については基本構想にもある通り、量産化による特産地化を図りたい。遊休農地を積極的に活用し、栽培面積の拡大による生産量の増量が必要であると考えている。



八丈島の産業のブランド化戦略について

答 各生産者が合意形成をして組織化する課程が重要

八丈島には誇るべき様々な観光資源があるにもかかわらず、観光客数の低迷が続いている。「八丈島に來たい」と思わせる発信力が弱く「行ってみたい」という動機付けには結びつかない。農水産物についても他地域の生産物との差別化、ブランド化が必要になってくる。

問 これまでに各種産業において、八丈町で行ったブランド化事業の取り組みは。

答 産業観光課長 共撰共販体制について取り組んでいる。水産業についてはカツオはもとより、漁協女性部による未利用魚の加工製品のとり組みがあげられる。

問 個々のテーマではなく、八丈島産業全体の戦略的な

ブランド化を図っていく必要があると考えるが、これに対する町の考えは。

答 各部門では行われているが、ブランドの統一化に關して、現在のとり組みはない。しかし、八丈町基本構想の中にもあるとおり、基盤である第一次産業が主軸。そこに商工・観光業を關連させて全体のブランド化が展開していくのではないかと考える。各生産者が合意形成をして、組織化していくことの課程が重要だ。それが最終的に八丈島全体のブランド化に繋がっていくと考える。

問 ブランド化については、個々の取り組みもいろいろ、時間をかけていると波にのりきれないのでは。

答 6次産業化にも關わることが、どのように生産し、加工して販売していくか、全体の取り組みについて検討する場が無い。産業祭などの機会を利用して今後検討していきたい。

ローコストキャリア（格安航空会社）の誘致を

答
低い
八丈島路線に進出する可能性は



山下 崇 議員

◆所要時間 22分

○近年、世界的にも国内においても効率化を向上させることで低価格な格安航空会社普及している。しかし、これらの航空会社が設定する路線は大量集客が見込める路線に集中し、離島航路には進出する気配はない。

一方、韓国では仁川国際空港をハブ化し、国内の地方都市での国際学会誘致に熱心である。これは、会場の安さに起因するものである。八丈島は成田からの近さ、離島ならではの警備の容易さを生かし、来年落

成する新庁舎ホールの価値観を高めるためにもローコストキャリアの誘致を進める考えは無いか伺う。

○菊池良 企画財政課主幹
現段階で、ローコストキャリアが八丈島路線に進出する可能性は低いですが、近年整備が進む島内インフラの紹介、利用促進のため東京以外からのチャーター便誘致を含めて進めていきたい。

観光振興実行委員会改定の進捗状況は

答
補助金交付要綱を設ける外、改善を行う

○昨年度の事業費について、不要額が大きい理由を具体的に示せ。

○奥山拓 産業観光課長

大幅な不要額を出したことは実績ベースでの支出はあるものの、見込みの甘さ、年度途中での見直しが不十分であった。今後は四半期ごとに執行状況の確認を徹底していく。

○予算配分にあたって、実効性の検証を行い額の配分を行っているか。

○執行予算の実効性については、基盤整備部会を中心に検証していく。

○事業主体から予算要求などのヒアリングについて、適切に行われているか。

○平成25年度より、予算配分には補助金交付要綱を設け、予算要求から実績報告まで一貫してチェックできる体制を作っていく。

○事業主体からの予算要求は、9月に締め切りその後ヒアリングを行う。

港湾、海面利用について漁業振興と観光振興の両面から町が合意形成に取り組み考えは

答
将来的には合意形成を図る必要があると考える

○八丈島においては、古くから釣り、ダイビングなどのレジャーを通じて海面は広く利用されている。最近ではプレジャーボートが普及し、現状の枠組みでは島の海況を考えると手狭感がある。大型のボートオーナーは富裕層が多く景気の影響を受けにくい。千葉県は保田漁港ではフィッシャリーナという形態で成功している。

○今後は、漁業振興と観光振興の両面からこれに類する形で町が合意形成に取り組む考えはないか。

○企画財政課主幹

現在、町ではフィッシャリーナという具体的な構想は無いが、将来的には合意形成を図る必要があると考える。

八丈町における自然利用の指針は

答
関係団体と2度協議を持ったが、指針制定には至っていない

○本年、第2回定例会において質問したが、今後島の価値を左右する重要な問題と認識しているため、進捗状況について伺う。

○産業観光課長

6月定例会での回答を踏まえて関係団体と2度協議を持ったが、指針制定には至っていない。現在島内には自然ガイドに係る団体を5団体把握しているため、これを整理することも新たな課題である。

○今後の島の観光にとり、環境保護や安全面は非常に重要な問題であるので、協議を進めていきたい。

離島振興計画作成は住民の意見、要求を聞き作成すべき

答

計画は構想的部分が多い、離島活性化交付金事業計画策定にあたっては提案を受けたい



菊池 陸男 議員

◆所要時間 45分

先の国会で10年ぶりに離島振興法の改正が行われた。最大の特徴は、これまでのハード整備中心の振興策に、定住促進に資するソフト事業が抜本的に拡充して盛り込まれたという事で、離島活性化交付金等事業を含む4つのポイントがある。また、離島特区制度も盛り込まれた。「離島活性化交付金」は離島振興計画に沿って申請決定され、事業化され、平成25年度予算から実施されるという。「離島振興計画」は、東京都の離島振興計画策定スケ

ジュールによると9月末までに住民意見を聴取し「町村計画案」を提出。「各局・町村ヒアリング」などを経て平成25年4月に公表される運びと伺っている。

問他島ではスケジュールに則って進められていると聞くが八丈町はどうか。町の計画案を明らかにしてほしい。

答菊池良 企画財政課主幹

町が策定している基本構想を反映させ、今回追加された厚生労働省、文部科学省、経済産業省、環境省主務事業に対応できる離島振興計画案を都に提示した。内容は15項目に分けて記載し、離島振興法適用事業が幅広く行えるようにしている。現在は、町の案を提出して都の案との整合性の検

討がなされている。平成25年1月末に都が素案を発表しパブリックコメントを行い、3月に計画決定という状況である。

問新たな事業を追加することは可能か。

答今後10年間の方向性を示す構想が求められている計画であり、具体的な事業は離島振興計画で検討される事項ではない。通常の事業の中で離島振興法の適用が、財政面などで有利になる事業を都に離島振興法適用事業として毎年要望し、予算を確保していたく形

になっているので事業の追加は可能。更には、今回の改正法では、「離島特区」の創設が検討されているので、法律・政令・省令などで規制されているものを地域限定で緩和、撤廃して八丈の特性を活かせる事業のアイデアを広報12月号の公聴ハガキ、町ホームページで募集している。八丈島にふさわしい特区のアイデアは町の事業に反映させ、離

島振興法適用が町に有利なものであれば適用事業として都に毎年要望していきたい。

問町独自の計画案を住民の意見、要求を聞きながら作り上げていくという、開かれた政治の方向性に切り替えるべきだと思う。町長始め、課長も自分たちの領域内で物事を考えている面が多く見受けられる。これまた他の議員も質問してきた

が、前進的に取り組む姿勢が見られない。

答佐々木 真理 企画財政課長

計画は構想的な部分が多い。離島活性化交付金の実際の事業計画策定にあたっては皆様からの提案を受けたい。その第一段階として特区のアンケートを行っているので、是非提案していただきたい。

● こんな質問もしました

質問 精神保健福祉対策の現状と課題は

答 課題に対しては、今年度中に「自立支援協議会」を立ち上げ対策を協議する

東日本大震災に関して

質問 福島県等被災者受け入れ対応の現状と施策、短期の課題は

答 八丈島で各世帯がいかに自立を図れるか

質問 原発についての町長の認識を問う

答 再生可能エネルギーの導

入を早急に進めて、原発の比率を下げていくことが望ましい

質問 再生可能エネルギー推進について町長の認識（地熱だけに固執するのはどうか）と具体的施策を問う

答 地熱発電で最低夜間必要電力を確保しつつ、さらなる活用を検討し再生可能エネルギーの割合を増やしたい。（企画財政課主幹）

固執している訳ではない。地熱発電の可能性が一番高く、化石燃料の使用を減らすことが大事であり力を入れたい。（町長）

第四回定例会の質疑から

八丈富士登山道の改良に人工物を使うべきでない

菊池睦男議員 神聖なる富士に人工物が出来ることはどうか、改良すると聞いているがどうなるのか。



奥山拓産業観光課長 現在の幅の約3分の1にスロープ状の物を設置、自然に配慮した色等を検討する。平成24年12月中旬に工事発注予定。

長戸路義郎議員 以前から聞いていたが上の方をコンクリートで埋めること自体がおかしい。擬木を使う、八丈にはシイの木も沢山あるのでそれを並べるなら話分かる。柔らか味のあるまちづくりを考えるべき。予

算を流すべき。

産業観光課長 階段部分のスロープ横に排水用のコンクリートがある。階段を歩きにくいことからその外側を歩いていることにより、自然の草木が荒らされている状況のもとでの修復である。

山口英治議員 観光の売りは島の得意な所で勝負するしかない。予算を凍結して考え直すべき。

佐々木眞理企画財政課長

自然に調和した形のコンクリートで、半分程度の距離に抑える事で執行させていたいただきたい。

山口英治議員 観光問題は事前に経済企業委員会に相談するのが筋である。

山下奉也町長 経済企業委

員会で距離などの細かい部分を話し合いながら行いたい。

【ふれあい牧場身障者用トイレ新設工事は建築確認が取れず予算を減額したが、来年度実施か。身障者用トイレ、休憩舎の電気代は牧野管理費ではなく観光費で予算化し、観光牧場として機能強化を図るべき。

富士牧場に電気を引けないか。等の質問あり】

フクトコブシ稚貝放流、費用対効果を考えるべき



奥山博文議員 実績が上がっていない。磯焼けの研究（水温なのか、コンクリートの使い過ぎかなど）をしないと、餌である海藻が生えてこなければ稚貝放流しても増えるわけがない。

投石をしても駄目、地を作るよりも海藻が生えてくるような施策をとらないと。東京都水産試験場にも磯焼けに関する研究結果を出し

てもらうべき。

産業観光課長 生息環境改善事業（委託料）が平成22年度から始まり、今年が最終年度になるので、結果を受け検討する。

【シマアジ養殖を定置網で。等の質問あり】

地熱PR館購入後の管理運営は



山口英治議員、奥山博文議員 再開はいづからか。東京電力側から「地熱は経済的に厳しいのでやめます」という事がないように契約を書面で交わせ。案内する方を含めた建物の運営は。

企画財政課長 かなり傷んでいる部分があり、修繕に今年度中はおかかるので、新年度に入り早い時期を考えている。文書を取り交わすことは厳しい。運営をHATに打診したが困難との回答、改めて検討する。

【今後発生する経費は。等の質問あり】

白内障手術、現在の進捗状況は

水野佳子議員 器材の購入、医師の手当の状況は。

土屋久公営企業管理者 器材を平成25年1月末搬入、医師は器械を試運転したいとのこと。医療スタッフは向こうから連れてくる方もいるが、町でも看護師を付けないならならぬ。町看護師は白内障手術の経験がないため、日医大に4名を順番で研修にいかせる。本来の手術は2月中旬以降。【院外薬局処方】の結果は。院外薬局アンケートの結果は。等の質問あり】

●その他

- ◎庁舎建設補正について、もう少し詳細の分かる丁寧な説明をするべき
- ◎庁舎移転の際、備品など使えるものは住民に提供せよ
- ◎浄化槽設置が進まない理由は
- ◎町道の街路灯の交換を迅速にするため、契約を坂上、坂下に分けるなどの対応は可能か
- ◎ゴミの有料・無料化について、総務文教委員会に諮り進めるべき
- ◎廃食用油の活用はできているのか
- ◎伐採木を燃料化する考えは
- ◎観光振興実行委員会の来年度の計画、予算額は出ているか
- ◎玉石垣の保存、修理はどのように進めるのか
- ◎教育委員会が把握している不登校者、いじめ問題
- ◎の件数は
- ◎図書購入に100万円の寄付を頂いたが、広報にお礼文掲載を
- ◎教育委員会の点検・評価において、歴史民俗資料館の将来像の考察がなされていない
- ◎学校校庭の芝生化、維持管理経費がしわよせとなり、他事業の予算縮小に繋がる可能性があるが見通しは
- ◎奨学資金の利用状況はなども質問しました。

行政視察レポート

群馬県 川場村

「農業と観光」をコンセプトとした村づくり

期間 平成24年10月10～12日
視察者 山下崇、山下松邦

菊池睦男、奥山幸子
冲山宗春、長戸路義郎
土屋博

「農業と観光」これが川場村の村づくりのコンセプトでした。すべての施策や事業がこの目的のために進められ、代々受け継がれてきたことに驚きました。

○田園プラザ

このテーマにつくられたのが今回訪れた「田園プラザ」です。一般的な農産物の直売所とは異なり、工場から販売まで一体化したもののづくりを目指している、いわば大規模な「道の駅」です。

構想から完成まで5年を経て、平成5年に株式会社として発足しました。まずミルク工房がスタートし、農産物市場（マーケット）、ミート工房、そば処、ビール工房、



山口県 萩市および宇部市

萩市における観光施策

期間 平成24年10月10～12日

視察者 菊池良、岩崎由美
廣江才、水野佳子
山口英治、奥山博文
小澤一美

今回の行政視察では、萩市、宇部市において、観光施策、地域医療、図書館運営、デイサービスセンターにおける機能訓練の取り組み等について学んだが、紙面も限られるのでここでは観光施策を中

心で紹介したい。

吉田松陰、高杉晋作ら多くの幕末の志士が育った萩市萩地区は、今もなお当時の佇まいを残し「古地図がそのまま使える町」として有名だ。1972年には全国初の市独自の「歴史的景観保存条例」を制定し、積極的な町並み保存を行ってきた。全国有数の観光都市で、第3次産業の人口割合は約65%（H17）。その歴史や景観、文化財を活かし、まち全体を博物

パン工房、レストランが次々に
くられていきました。総工費31億
円のうち、20億円は起債です。村
の年間予算が20数億円であること
を考えると、思い切った「賭け」
に近い計画だったと思います。

成功の秘訣は、ミルク工房は飲
むヨーグルトとアイスクリームの
2種類に限定したこと、ミート工
房は村と提携している世田谷区在
住の経験豊富な職人が経営してい
ること、ビール工房は大手のサツ
ポロビールが技術支援して味を維
持していること、さらに農産物マ
ーケットは高齢の就農者の生きが
いになっていくことなどです。

○世田谷区民健康村Ⅱ世田谷区との提携・交流

世田谷区民健康村とは、世田谷
区が川場村に建設した研修施設で
す。世田谷区内の小学校のうち、
60校を対象に授業の一環として5
年生の研修を実施しています。期
間は4～6月と9～11月、その他
の期間は世田谷区の住民や一般の
人に開放しています。児童は2泊
3日の日程で農作業や林業など、
都会では触れる機会の少ない作業
を体験することになります。

視察した際も、宿泊している児
童たちのにぎやかな笑い声が館内

研修の様子



にあふれ、この活動の意義を実感
しました。

八丈の場合は天候の急変が避け
られず、こうした授業としての研
修は難しいと思われました。ただ、
山梨の子供たちとの交流のよう
に、県単位で希望者を募るとい
う方法で、たとえば東京都内の子供
たちを対象に連携した研修や体験
学習などであれば、可能性はある
と思います。

報告者 奥山 幸子

館としてとらえた「萩まちじゅう
博物館」は萩市観光戦略5カ年計
画の重点事業のひとつである。現
在「まちじゅう博物館構想」にお
ける主な事業は、①研究・保存、
②展示・発信・活用、③拠点整備
と周辺整備、④「心のふるさと・
萩」のおもてなしの4事業。事業
開始当初より市長の意向によって
市民参加による構想作りを進めて
いたが、現在でも「NPO萩まち
じゅう博物館」の育成、「NPO
萩観光ガイド協会」との協働が推
進されている。

館内を案内してくださった80歳
代の女性の深い知識に裏付けられ
た解説には郷土を愛する心、活動
への熱意がジンと心に伝わってき
た。

同事業はしっかりとしたビジョ
ンを基に運営され、今後の事業展
開についても明確だ。歴史的資産
を守り活かすための法的措置につ
いても「萩市における史跡指定地
域の環境保存に資するため萩市税
条例の特例を定める条例」等によ
り、指定地域内の土地に対する固
定資産税免除等の優遇があるとの
ことであった。歴史的景観である
土塀の補修については所有者にゆ
だねられるが、税制優遇によって
その所有者と景観を支援する行政

的配慮には学ぶべきも
のがある。
八丈島にお
ける歴史的
景観として
は大里地区
の玉石垣が
あげられる
が、現在保
存事業とし
ては大里地
区玉石保存
会への「玉石垣修復・後継者育成」
補助額40万円のみである。



日本の道100選 菊屋横町

た夏みかんは、萩藩の家臣だった
小幡高政が失業していった元士族
たちの生活を助けるために苗を広
めたものだが、様々な加工品が産
物となるなど、一世紀を経た今も
なお萩の町を彩っていた。歴史や
文化を大切にする事は、地域の成
熟度の尺度であり、八丈島の誇り
である黄八丈や八丈太鼓はもちろ
ん、玉石垣の美しい大里地区や、
古い文献や史跡などを発掘・保全
することは、観光資産のみなら
ず八丈島そのものの未来を方向づ
けることになるのでは、と強く感
じた次第である。

報告者 岩崎 由美

町ナビ

かつて島の子どものお正月遊びと言えば、凧揚げだった。今ではすっかりみなくなったが、数年前から教育委員会で、年末から親子で為朝凧をつくるワークショップを開催し、年明けの凧揚げ大会で、手作り凧を揚げている。今年も大寒の1月20日、三原中の校庭で凧揚げが行われた。強風の中、ブンブンうなりを上げて青い空を背景に真っ赤な為朝凧が舞い上がった。



12月定例会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について（平成24年度八丈町一般会計補正予算）
ほか専決処分1件
- 平成24年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算7件
- 東京都八丈島八丈町役場の位置を定める条例等の一部を改正する条例
ほか条例制定・改正2件
- 八丈町新庁舎及び集会施設備品購入（庁舎棟）契約
ほか契約3件
- 平成23年度八丈町一般会計決算認定について
ほか決算認定4件
- 平成23年度八丈町一般会計継続費精算報告について
ほか報告1件
- 八丈町議会委員会条例の一部を改正する条例
ほか発議1件
- 議員の派遣について（フリージアまつり表敬訪問）
- 総務文教協議会 平成24年11月20日開催
- 八丈島歴史民俗資料館基本計画について
- 「八丈町一般職の任期付職員の採用等に関する条例」の制定について
給食費について
- 経済企業協議会 平成24年12月19日開催
- 病院の新医事システムについて
- 新庁舎及び集会施設建設工事に伴う植栽工事について

編集後記

新しい年があけても、いつ起こるかかわからない巨大地震や、経済の不況等、私達を取り巻く環境は、今年も厳しいものがあります。せめて若者や子ども達が、明るい希望を持てる社会であってほしいと願わずにはいられません。八丈町も、新庁舎や大型の公共施設もほぼ完成し、財政的にも正念場を迎えます。住民に信頼される議会とするためにも、私達議員も更なる

努力をしていきたいと思います。
『笑う』という言葉は、古くは『咲う』とも書いたという。笑顔は、人間が咲かせることのできる花である。
先日読んだ本の中にあり、心に残りました。
ひとりでも多くの笑顔が輝く一年になりますように。

水野 佳子

発行人 八丈町議会議長 小澤一美
編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1 tel 04996-2-1121 fax 04996-2-5575